



形名表示位置

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

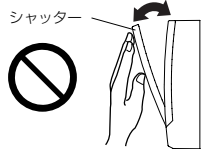
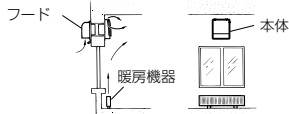
据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居室に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外から給気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 外風の吹き付けの強い場所では耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。壁面汚れ、雨水浸入、電気式シャッターのばたつきの原因になります。
- 塩化ビニル管（厚肉管 VP）には据付けできません。

| 形名 | 電源仕様 | 適用パイプ | 付属部品 |
|-----------|------|---|--------|
| V-12PEQD5 | 速結端子 | ●塩化ビニル管…VU (φ 150 mm) ●銅板管 (内径 150 mm) | 木ネジ…2本 |

お願い

- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- システム部材 (ウェザーカバーなど) は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れたところに据付けてください。
- 冬期の場合、冷気が直接入ってきますので、下図のような設置をおすすめします。
- 電源が入った状態でシャッターを無理に押ししたり、引っ張らないでください。(シャッター機構破損の原因になります)



安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

据付方法

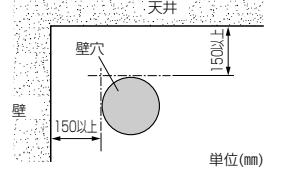
1. 据付前の準備

⚠ 注意

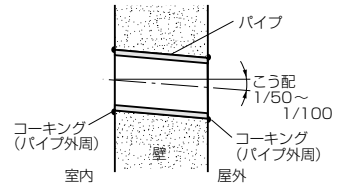
- 湿気の多い場所 (浴室、シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など)、結露する場所には据付けない (感電・故障の原因)

壁穴へのパイプの固定

1. 据付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より 1800 mm 以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。
 - 壁・天井との距離が近いと壁・天井面が汚れる場合があります。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
 - 電源電線を室内に引き込んでから (2. 電気工事参照) 行ってください。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。



※パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

2. 電気工事

⚠ 警告

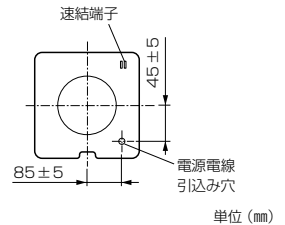
- 交流 100V を使用する (直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因)

⚠ 注意

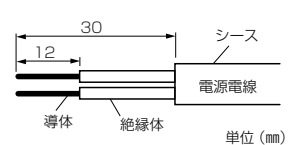
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因)
- 電気工事は電気工事店に依頼する (感電の原因)

■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを合わせて結線してください。

1. 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
 - 電源電線は VVF φ 1.6、φ 2.0 2 芯をご使用ください。

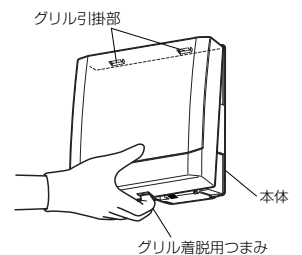


2. 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。
 - 端子部への水の浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3. 本体の据付け

1. 本体からグリルをはずす。
グリル着脱用つまみを指をかけ、グリルを斜めに持ち上げて本体上側のグリル引掛部からはずす。



3. 本体の据付け つづき

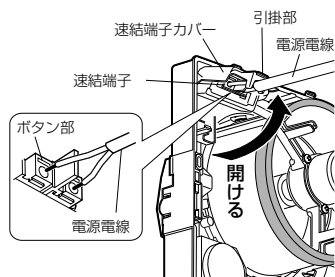
2. 結線をする。

- ①速結端子カバーの引掛部に手を掛け、図のように開ける。
- ②電源電線を速結端子に差し込む。
- ③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

お願い

- 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはみ出す場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。

■電源電線接続方法

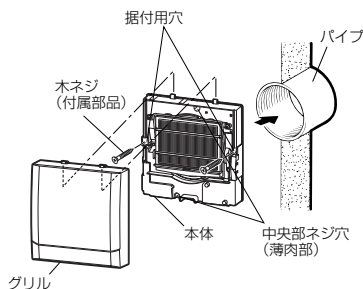


3. 本体を固定する。

本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。

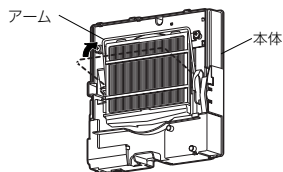
お願い

- 左右の据付用穴をご使用ください。必要に応じて上下中央部ネジ穴（薄肉部）をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



4. グリルを本体に据付ける。

- ①アームを右図のように押し上げる。



- ②グリルの方向を間違えないよう本体に据付ける。
(1. 本体からグリルをはずすの逆の手順でグリルを据付けてください)

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。

試運転

据付けが終わりましたら下記の要領にて試運転を行い、正常に動作するか、異常な音・振動などがないかを確認してください。

1. 運転スイッチを「入」にするとシャッターが開き換気扇が運転（給気）するかを確認する。

2. 運転スイッチを「切」にするとシャッターが閉じ換気扇が停止するかを確認する。

お願い

- 試運転が終了したら運転スイッチを「切」にしてください。
(お客様がお使いになるまで製品内にほこり等が入らないようにする)

